

特集

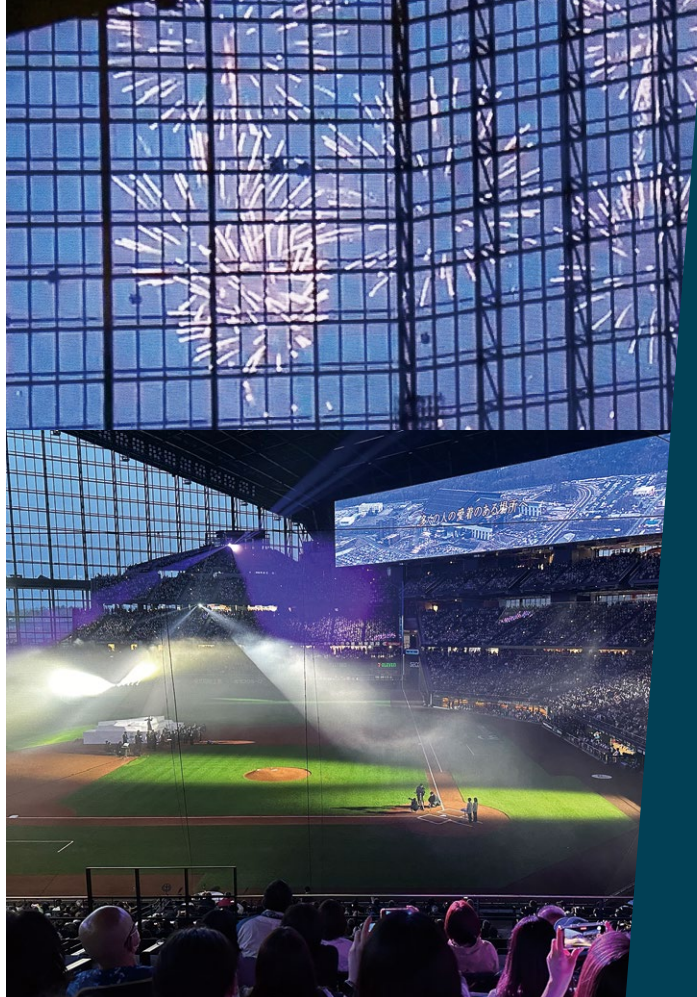
新時代の幕開け!

開幕第1戦 × を見た



●ジャーナリスト
黒田伸

報道されない「あんなこと、こんなこと」



プロ野球北海道日本ハムファイターズの新本拠地となった北広島市の「エスコンフィールド北海道」が3月30日日本格開業し、パ・リーグ開幕戦が行われた。上空にはヘリが舞い、お祭りムード一色に包まれた中でこれまでの球場風景とは違った風景も。報道されなかった「あんなこと、こんなこと」とは。

華やかなセレモニーの陰で…

午後4時の開門と聞いていたのでJR北広島駅西口に午後3時に「集合」することにした。待ち合わせたのはボールパーク（BP）の建設が北広島に決まった直後に現地を訪れた、北海道マラソン2位の実績を持つ沖縄出身のランナー比嘉正樹さんだ。

比嘉さんは東京の専門学校の講師としてスポーツビジネスについて教える傍ら、スポーツと街づくりについての研究をライフワークとしている。「人口5万8000人の街にプロ球団の本拠地が来ることは日本で

初めて。どのように変貌するかをこの目で見たい」と北広島へのBP建設に注目してきた。シャトルバスは北海道中央バスなどの共同運行。今年のファイターズカラーを採用し、ほぼ真っ黒に塗装された専用バスが到着すると「強そうでカッコいい」という子どもたちの声に対し、「黒は威圧的で怖い感じ。ファイターズ・ブルーにすればよかったの」との年配女性の声も聞かれた。

現金200円(大人)とVISAタッチのみに対応するため、スイカなどの交通系カードを間違えてタッチし、運転手に呼び止められる光景が何度も見られた。午後3時20分にゲートに着くとすでに500人以上の観客が開門を待っていた。午後4時に航空自衛隊のブルーインパルスによるオープン記念の展示飛行があつて開門。



▲東京から開幕戦を見に来た比嘉正樹さん(左)。写真上はエスコンとJRの駅などを結ぶシャトルバス



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)